

研究発表論文執筆要領(2025 年版)

1.発表申込から研究発表まで

1.1 発表論文データシート

講演発表者は、「発表論文データシート」に研究発表論文の要旨を記載し、発表論文とともに提出する。提出したデータシートは、独立行政法人 科学技術振興機構が運営している科学技術情報発信・流通総合システムのデータベースである J-STAGE に登録する。

なお、「発表論文データシート」は本会ホームページよりダウンロードできる。

1.2 発表登録費

講演発表者には請求書ならびに郵便振替用紙を送付するので、所定の発表登録費を事前に納入する。なお、数題にわたって応募する場合も、発表登録費は1題ごとに納入する。共同研究者の発表登録費は不要とする。なお、納入された発表登録費は返還には応じない。

1.3 研究発表論文集

発表部門(カテゴリー)は提出された発表申込書をもとに分類し、大会実行委員会においてプログラムを編成する。

採択された発表論文は、「日本建築仕上学会 大会学術講演会 研究発表論文集」に収録し、大会開催前に全会員に無料配布する。

研究発表論文集に掲載された研究発表論文の著作権は著者が有し、著作権は本会が持つものとする。

2.研究発表申込書の書き方

本会ホームページ掲載の「研究発表申込書」の word ファイルをダウンロードし、必要事項を入力後、電子メールに添付し、下記メールアドレスへ期限内に送信する。なお、添付するファイルの形式は word ファイル (docx) 形式のものを送信すること。

研究発表申込書送信先：E-mail：shiage@fginex.jp

また、研究発表申込書の記入内容は、申込み時点の題目・発表者名・共同発表者等を記載するが、「研究発表論文集」においては、最終的に提出された論文に倣うものとする。

2.1 題目

発表論文のタイトル(表題)は、内容を適切かつ具体的に表す。

サブタイトル(副題)を記載できるのは、一連の研究発表の場合だけとする。連続した研究で副題をつける場合は、その○ △△△△とし、()、-、:等の記号は付けない。サブタイトルもタイトルと同様に内容を適切かつ具体的に表す。

2.2 発表者名

姓・名前を活字体で正確に記入するとともに、そのふりがなを記入する。また、会員番号は必ず記載すること。なお、申込み時に未入会の方は、会員番号欄に「申請中」と記載し、速やかに所定の入会申込書を提出する。

2.3 所属先名称・部署・役職

所属先名称・部署は、省略せずに正確に記入し、所属先名にふりがなを併せて記入する。

例：「東大」とはせず、「東京大学」とする。

「建築仕上(株)」とはせず、「建築仕上株式会社」とする。

2.4 連絡先住所等

研究発表に関する連絡先として、勤務先および自宅の郵便番号、住所、電話・ファクシミリ番号・電子メールアドレスを必ず記入する。後日、発表等に関する情報・連絡事項等は全て電子メールにて送付するので、継続的に利用できる電子メールアドレスを必ず登録する(携帯電話のメールアドレスは受付ない)。

2.5 共同発表者氏名・所属

共同発表者の氏名および所属を記入する。なお、所属先は会社名および所属部署を記入する。

2.6 論文要旨

発表論文の要旨を、日本語で 300 字程度にまとめて記入する。

2.7 発表希望カテゴリー

発表を希望するカテゴリーを選択し、○で囲む。該当するカテゴリーがない場合は「その他」とし、具体的なカテゴリーを記入する。

3.研究発表論文の書き方

研究発表論文は、電子投稿・紙面投稿ともに本執筆要領にしたがって執筆し、仕上がりは同じ体裁とする。図2～5に論文書式例を示す。

3.1 用紙設定

用紙サイズはA4判とし、横書き2段組の4ページとする。左右の段の間隔は10mmとし、余白は4ページとも、いずれも天地左右20mmとする。余白には、印刷・製本時に講演番号やページ番号を記すため、所定の余白は必ず確保する。

本文の体裁は、行間1.5mm、字間0.3mm程度を目安とし、文字の大きさは明朝体10～12ポイントを標準とする。文字の大きさ・行数・文字数は表1に示す通りである。

表1 文字の大きさ・行数・文字数について

文字の大きさ (ポイント)	行数 (行)	文字数	
		1段	1ページ
10	51	20	2040
11	48	19	1829
12	45	17	1530

1 行目は空ける 天地左右とも余白として 20mm を確保する(4 ページ全て)

2 行目にタイトル

タイトル

ゴシック体 18pt

サブタイトル

ゴシック体 14pt

センタリングで記載する

発表者、共同発表者は右寄せ

ゴシック体 ○仕上花子*¹ 建築太郎*¹

※発表者には○をつける

1. はじめに ゴシック体

3. 試験概要 ゴシック体

本文は 10pt または 12pt の明朝体とする。

2. 試験項目および使用材料 ゴシック体

表 1 ○○○ ゴシック体

表 2 ○○○ ゴシック体

本文と記載欄との間に罫線を引く。

英文のタイトル・サブタイトルは左側に寄せて、発表者名および共同研究者名は右側に寄せて 10pt で記載する。氏名はローマ字で姓・名の順に記入し、姓はすべて大文字とし、名は頭文字のみ大文字とする。

[ゴシック体] Hanako SHIAGE*¹, Taro KENCHIKU*¹

4. 試験方法 ゴシック体

5. 試験結果 ゴシック体

(1) ○○○○ ゴシック体

表 3 ○○○ ゴシック体

表 4 ○○○ ゴシック体

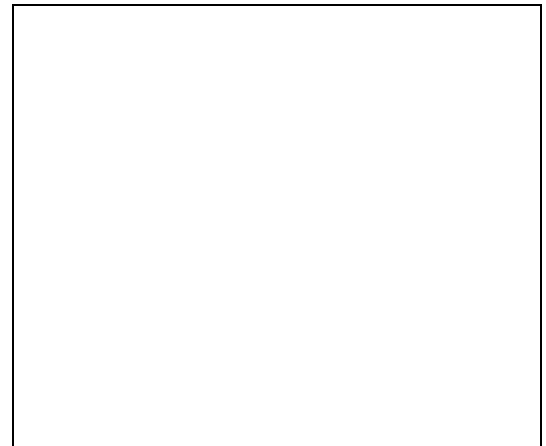


図 1 ○○○○ ゴシック体

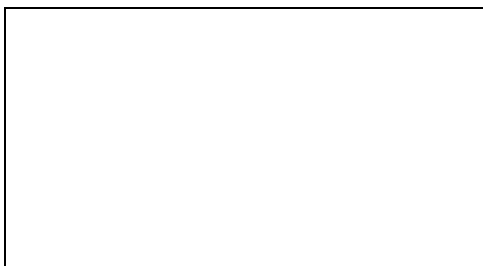


写真 1 ○○○○ ゴシック体

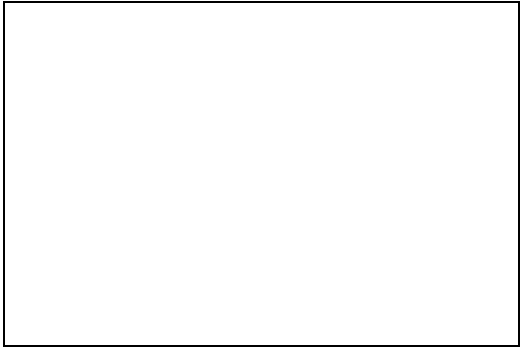


図2 ○○○○ ゴシック体

(2) ○○○○ ゴシック体

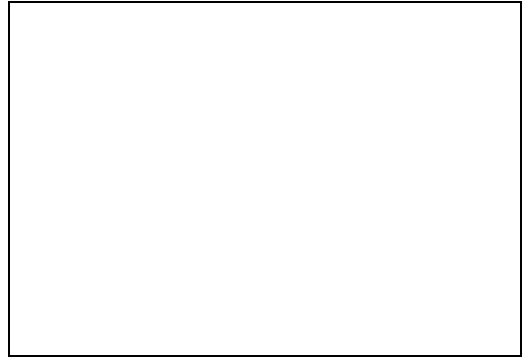


図3 ○○○ ゴシック体

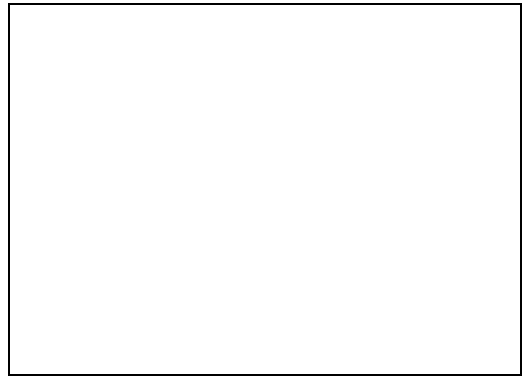


図4 ○○○○ ゴシック体

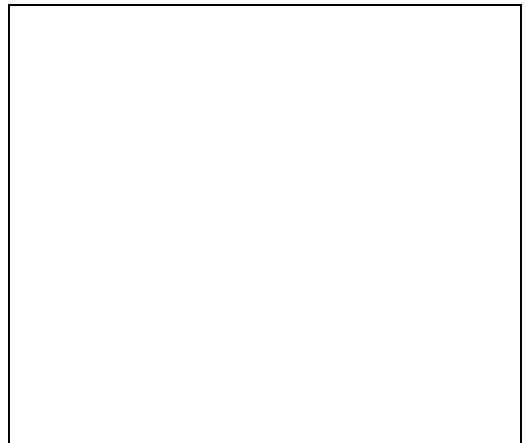


図5 ○○○○ ゴシック体

(3) ○○○○○○ ゴシック体

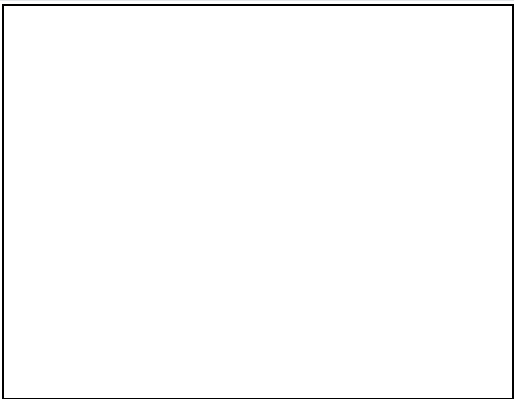


図8 ○○○○ ゴシック体

6. まとめ ゴシック体

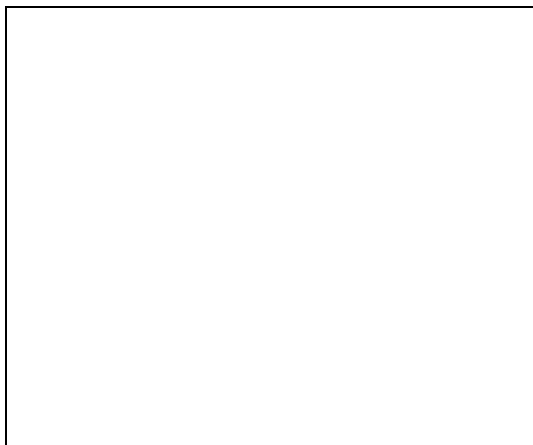


図6 ○○○○○○ ゴシック体



図7 ○○○○○○ ゴシック体

[参考文献] ゴシック体

- 1) 井上明生：ホルムアルデヒド気中濃度ガイドライン対策，木材工業、Vol. 52, No1, pp9-14 ゴシック体

本文と記載欄との間に罫線を引く。

発表者・共同研究者の所属を日本語と英語で記載する。日本語は左側に、英語は右側に寄せて10ptで書く。

*1 ○○○○（株）技術センター

Technology Center, Shiage Corporation

ゴシック体

ゴシック体